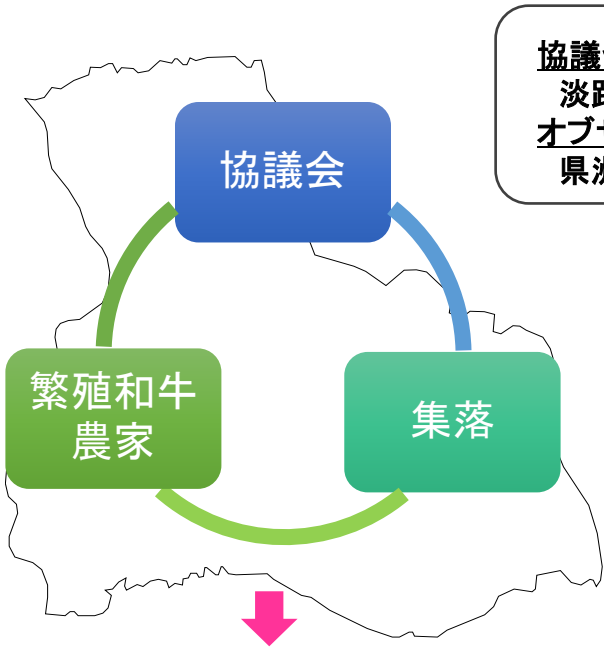


【放牧による耕作地管理】(兵庫県 淡路和牛舌刈り活用推進協議会)

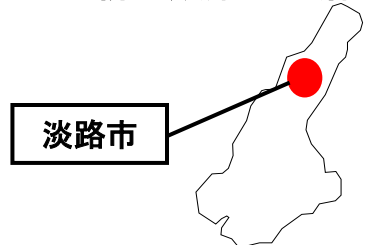
- 淡路島内には県内の約半数の肉用繁殖雌牛が飼養されており、農地の有効利用と飼料費の低減、飼養管理の省力化のため、平成8年から放牧を開始。
- 平成20年、放牧実施農家が放牧技術の向上や放牧による耕作放棄地等の活用推進を図る目的で「淡路市放牧研究会」が設立され、平成26年には、同研究会が創設したカウバンク制度を活用し、集落組織への繁殖和牛農家からの牛の貸出を開始。さらに平成28年には「淡路和牛舌刈り活用推進協議会」が設立、集落営農組織等と繁殖農家が連携した放牧を推進。
- 令和2年度、淡路市の放牧面積は59.7ha、放牧頭数は370頭で、営農組合等が事業等活用し、耕作放棄地の解消、集落の景観形成、獣害防止に貢献。



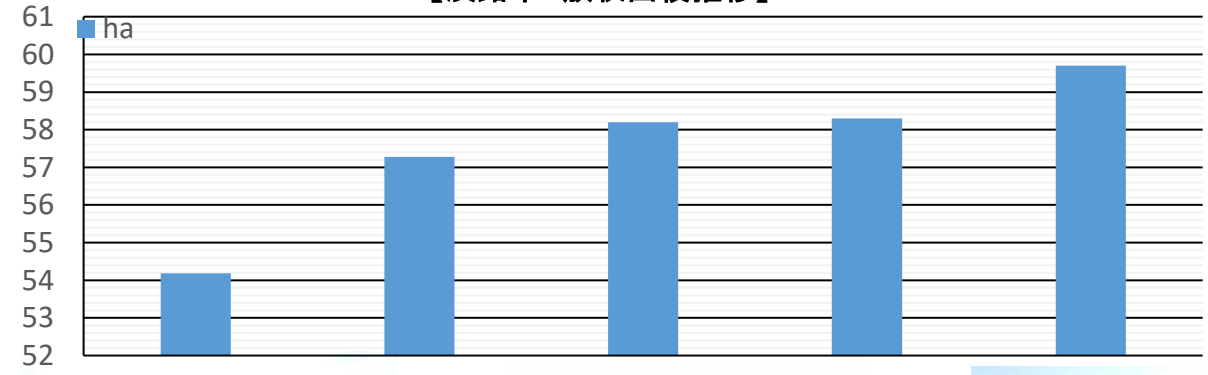
協議会構成員
 淡路市、JA淡路日の出、淡路市集落営農組織連絡協議会、淡路市放牧研究会
オブザーバー
 県洲本農林水産振興事務所、北淡路農業改良普及センター、淡路家畜保健衛生所

・モデル集落の選定
 ・畜産農家とのマッチング
 ・先進地調査等を実施

放牧による耕作放棄地の解消



【淡路市 放牧面積推移】



放牧開始前(H28)

放牧開始後(H28)

放牧後(H28)